

09

“深は新なり” (深く掘り下げる先に新しいものが見えてくる) を追求するモノづくり



有限会社オリオン機工

TEL.03-3895-1395 FAX.03-3892-3223
URL <https://orion-kikou.com/>

代表者: 代表取締役 加藤 茂明
所在地: 〒116-0001 荒川区町屋6-10-4
資本金: 4,000万円
従業員: 20人

創業年: 昭和50年
業種: 金属製品製造業
事業内容: 金属加工製造、精密板金部品加工



加藤 茂明
代表取締役

モノづくりの“サービス業”を指向

昭和50年の創業以来、金属製品の機械加工を家業とし、大手電機メーカー向け電子部品の供給を柱に事業基盤を固めてきた。平成8年に、2代目の加藤茂明氏(現・代表取締役)が経営を引き継いでからは、機械加工の中でも精密板金加工に注力して専門性を強め、技術力を磨き、より精密な金属部品を提供する専門メーカーを指向。顧客に対しては「モノづくりのサービス業」をキャッチフレーズに取引関係を深めている。

1000種類を超える加工ノウハウを蓄積

業容の拡大に応じて、必要な最新設備・機械を次々と増設し、ステンレス材のマシニング加工からデザインアートパネルの製作まで、1,000種類を超える加工ノウハウを蓄積している。



本社社屋

本社社屋にある第1工場と第2・第3工場に加えて、令和5年には第4工場を新設すると共に、各工場内のレイアウトを見直して設備を再配置しライン化を進めて、SUS鋼材の「抜き⇒曲げ⇒溶接⇒磨き⇒クリーン洗浄」までの社内一貫体制を構築した。また、令和7年にファイバーレーザー溶接機を増設するなど、今後も業務状況に応じた設備導入を図っていく。



ファイバーレーザー溶接機とロボットのライン

画像処理の顧客ニーズへの対応には、令和3年に「三次元測定機」、そして令和5年には「高精度な画像寸法測定機」を導入し、高度化を図った。



画像寸法測定機

主な保有設備

- ・複合加工機 ・曲げ加工機 ・プレスブレーキ
- ・MC機 ・パンチプレス ・スポット溶接機
- ・レーザー溶接機 ・バリ取り機 ・三次元測定機
- ・画像寸法測定機 ・バフ研磨加工機
- ・レーザーマーキングシステムほか

平均年齢30歳代の若手職人が職場の軸

当社の平均年齢は30代後半。全社員20人中半数が若手職人だ。入社後に専門機関で基礎研修を積んだ後は、アットホームでストレスをためにくい職場環境のもとでのOJT。彼らが最新設備を駆使し、蓄積した加工ノウハウで高品質な製品を提供する。5Sを推進し、切磋琢磨して金属加工の技術向上を図る社風。「お仕着せの社員教育でなく、元気とやる気を高揚する自己啓発型が当社の特長。“技術の深化”と“満足いただける製品の提供”を企業理念に据え、常に“当社の提供する製品やサービスがお客様の要求を満たしているか”を問いながら経営を行っているが、最近の人材不足で今後はIoTやAIを駆使した設備の導入も考えていかなければならないかな。そして、モノづくり企業をアピールする“Made in Orion”の自社ブランド製品の開発に一層力を入れていきたい。」と、加藤社長は語る。

ソリューション・サービス内容	
精密板金加工全般	溶接全般(アルゴン・アーク・スタッド・ファイバー他)
レーザー加工全般	金属加工全般(MC・NC・製缶加工)
バフ研磨加工	表面処理全般(塗装・めっき処理他)

人との出会いを大切に、地域とともに次代へジャンプ!

創業者の時代から「地元・荒川を盛り上げたい」という思いは強く、会社経営と地域活動を連動させて、「ともに発展し、地域と人のつながりを広げ、次代につなぐ」考えで経営に臨んでいる。また、環境問題にも積極的に取り組み、技術向上と近隣の美化活動への貢献が他の企業の模範となると評価も高い。さらに、MACCプロジェクトに参加してからは、地域産業・企業との連携も強化している。

若い技術者集団と最新設備で精密板金加工の多様なソリューションを提供



電機産業や機械産業で使われる精巧な金属部品づくりを深化させる精密板金加工の専門経営に徹している。顧客の幅広い要望に応えるために、最先端の設備・機械を積極的に導入しながら、若手技術者を軸にした職人集団を形成。5Sを徹底し、「品質・納期・コスト」+「スピード」を満たす工場体制を整え、顧客の心に響くソリューションを提供する。

主な認証・実績等

- ・平成18年 しんきん協議会 優良企業表彰
- ・平成23年「ISO14001」認証取得